日本統合医療学会誌 第1巻第2号(2008)

目 次

◆原 著

様々な操作が皮膚局所に及ぼす影響				
─酸化還元電位および水素イオン濃度を指標として─	渡邉	勝之	•••••	3
強力反応点の性質および灸頭鍼の作用機序に関する研究	渡邉	勝之		10
◆総 説				
肥満症治療における身体療法				
	砂山	聡	•••••	17
サプリメント・健康食品の適正使用における現状と課題	蒲原	聖可		21
プライマリ・ケアと統合医療				
	鶴岡	浩樹		28
「脊椎原性疾患の施術に関する医学的研究」に対する医学的再検	ĒĒ.			
		内克彰	•••••	35
小動物臨床における統合医療の適用について─ホメオパシーを中		して 啓二		42
看護職の立場での統合医療推進のストラテジー ―パーキンソン病患者への音楽療法が患者の健康状態に与える 効果研究を通して考察する看護師の新たな役割―	猪股-	千代子		47
◆症例報告				
四肢への鍼通電療法により眼部の深部痛が消失した3症例 片岡 佳介 寺井 和都				52
उंग 1440	ЩЩ	円		34
■投稿規定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•••••		•••••	56
■日本統合医療学会認定制度要綱	•••••	• • • • • • • • •	•••••	58
■IMJ入会案内 ····································	•••••	• • • • • • • •	•••••	61
■書籍紹介	•••••		•••••	63
■編集後記		• • • • • • • • •	•••••	64